

① Malala Yousafzai ; with Christina Lamb
“I am Malala : the girl who stood up for education and was shot by the Taliban”
 (Little, Brown)

マララさんと言えば、史上最年少の17歳という若さでノーベル平和賞を受賞し、英語で堂々としたスピーチを披露したのは、まだ記憶に新しいのではないのでしょうか。本書は彼女の様々な体験を綴った手記です。分かり易い英語で書かれているので、無理なく読み進められると思います。なお、邦訳版（資料ID：588400）も入っていますので、こちらを先に読むという手もあります。本書でマララさんの素顔に迫ってみませんか。（T.F.）
 954.91 ||You

③ 南陀楼綾繁 著
『小説検定』
 (新潮社)

現在、膨大な数の書物が巷に溢れていますが、中でも小説はその大半を占めていると言えます。村上春樹、柴崎友香など現代の人気作家だけでも数えきれないほどです。
 本書は、明治から現代にかけて登場する作家の小説を挙げ「食べ物」「動物」など8つのテーマに基づいたクイズを出題しています。「志賀直哉『城の崎にて』で、主人公が投げた石に当たって死んだ動物は?」「村上春樹の作品には美味しそうな料理がよく出てくるが、これまで登場したことがない料理は?」などの問題が初級から上級レベルまで登場します。解答の頁にはその答えに纏わる興味深い解説も付いており、小説への興味や読書意欲を高めること間違い無しです。（H. I.）
 910.26 ||Nan



② クウネルお弁当隊 著
『明日も私たちがのお弁当』
 (マガジンハウス)

本書では、2009年春以降の雑誌『クウネル』で掲載された60人が作ったお弁当が紹介されています。お弁当を作るきっかけは、皆様々ですが、共通して言える事はお弁当を作る事によって、生活に1本筋が通り、自分を支える自信に繋がっているという事です。これらのお弁当には、おかずの作り方を含む実に様々な工夫が施されています。そこには、目から鱗の生活の知恵が満載です。
 あなたも本書を読んで、お弁当作りにチャレンジするもよし、また自分の食生活を見直すきっかけにするもよし、役にたつこと間違いなしの1冊です。（S.S.）
 596.4 ||Kun

④ 槍振一郎 著
『シェイクスピア一日一言：名句とクイズ』
 (英宝社)

本書では、シェイクスピアの名句が一日に一句ずつ読んで味わえるように365日分配列されています。英文に日本語の訳文と詳しい脚注が付いていますが、所々にシェイクスピアの舞台を描いた絵画や、日本で上演された演劇のちらし・プログラムからの写真などが掲載されていて、見て楽しめるように工夫されています。
 各ページにはクイズが付いていて、ジュリエットは何歳?、オフィーリアの死因は?、シェイクスピアが最も多く使った名詞は?、『マクベス』の舞台となった国は?といったクイズに答えているうちに雑学的な知識も身につく面白くてためになるお勧め本です。（F.O.）
 932 ||Yar